学校番号	2004

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ１」　（教育芸術社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業では、「わからないことやできないことをそのままにせず、どうすればよいかを自ら考えて行動する」ことを重視しています。その上で、音楽のすばらしさをさまざまなアプローチで体感し、他者とのかかわりのなかで、ひとつのものを作り上げていく達成感を味わってほしいと思います。また授業で知ったいろいろなことは、ほんの入口に過ぎません。ここから自分の好奇心と行動力で掘り下げ、より深い「音楽の世界」を探究してください。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）　曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。

（２）　自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。

（３）　主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱・器楽・創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージを持ってどのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	合唱	歌詞に描かれている情景を思い浮かべながら歌おう 「鳳高等学校 校歌」	a:曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわらせて感じ取り、それらを生かして表現するために必要な技能を身に付け、創造的に表現している。 b:音の重なりなどを感じ取り、全体の調和を意識しながら創意工夫している。 c:音の重なりなどに関心を持ち、全体の調和を考えながら主体的に歌おうとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・授業観察 ・振り返りシート
	器楽	身近なものを使ってリズムを演奏しよう「CUPS」	a: 曲想とコップや机などを打つ音色や奏法との関わりについて理解している。 b: 音色、リズム、速度、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 曲想とコップや机などを打つ音色や奏法との関わり、及び他者との調和を意識して演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	・発表	・発表	・発表 ・振り返りシート ・相互鑑賞

	器楽	ギター弾き語りをしよう 「カントリーロード」	a:曲の特徴をとらえてギターの弾き歌いをするために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 b:ギターの音色や奏法の特徴を理解し、それらを生かした表現ができるように創意工夫している。また、表現意図を持って創意工夫し、弾き歌いをしている。 c: ギターの音色や基本的な奏法の特徴に関心を持ち、それらを生かした表現を目指して意欲的に演奏し、弾き歌いをしようとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・実技テスト ・振り返りシート
後期	アンサンブル	表現を工夫してアンサンブルをしよう 「自由曲アンサンブル」	a:各パートの役割や音の重なり方などを感じ取るとともに、全体の調和を意識しながら表現するために必要な技能を身につけ、創造的に表現している。 b:音楽を形づくっている要素と、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図を持っている。 c:曲想と歌詞が表す情景や心情とかかわりに関心を持ち、共通のイメージをもって楽曲にふさわしいアンサンブルをする学習に主体的に取り組もうとしている。	・発表会	・発表会 ・プレゼンテーション	・発表会 ・振り返りシート ・相互鑑賞

	創作	音楽ウェブアプリケーションを使って、アレンジャーを体験しよう 「カトカトーン」	a: 創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、 変奏や編曲をする技能を身に付け、創作で表している。 b: 音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。 c: 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴に関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	・相互評価	・相互評価 ・アイディアシート	・振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度